

日本

尺八・篠笛

南昌中日交流之窗
日本文化講座
—— 講座 & 演奏
南昌ふれあいの場日本文化セミナー
—— 邦楽レクチャーデモンストレーション

尺八・篠笛と
津軽三味線の世界

和津軽 三味線

〈尺八/篠笛〉

第三代
佐藤 錦水
佐藤 公基

Koki Sato

〈尺八/篠笛〉

三代目 佐藤 錦水 佐藤 公基

〈津軽三味線〉

第二代
佐佐木 光儀
Mitsuyoshi Sasaki II

〈津軽三味線〉

二代目 佐々木 光儀

2024年

时
间

2月21日(周三) 18:30 (18:00开始入场)

「地
点」
南昌中日交流之窗
(南昌·高松中日友好会馆)
南昌市东湖区湖滨南路72号

〔日時〕2024年2月21日(水)

18時30分開始(18時開場)

〔場所〕南昌ふれあいの場

(南昌·高松中日友好会馆)

南昌市東湖区湖滨南路72号

活动不收取任何费用

参加無料

〔联系人〕李女士 0791-88890989

〔报名方式〕扫码关注会馆公众号, 后台发送【2.21】即可
(注:工作人员将按照报名先后顺序发送报名成功通知。名额有限, 先到先得)

〔报名时间〕即日起至2024年2月19日

〔主办单位〕南昌中日交流之窗、日本国际交流基金会

Official Wechat
Account ▼



〔お問合せ〕南昌·高松中日友好会馆 0791-88890989

〔申し込み方法〕①左記QRコードをスキャンして会馆公式Wechatアカウントをフォロー
②【2.21】を送信(先着80名様限定。当選者にのみ20日17時までにWechatにてお知らせします)

〔締切日〕2024年2月19日17時

〔主催〕南昌ふれあいの場、
日本国際交流基金



活动当天我们计划拍摄记录、宣传用的照片及视频。拍摄的照片、视频将发布在主办方制作的报告书、年度报告、社交媒体、网站等宣传材料中。

当日は記録・広報用に写真・動画撮影を予定しています。撮影した写真・動画は主催者等が作成する報告書や年報、SNS、ウェブサイトなどの広報物等に掲載いたします。

简介

プロフィール

〈尺八/篠笛〉 第三代 佐藤 錦水 佐藤 公基 Koki Sato

出生于东京都根岸。毕业于东京艺术大学音乐系日本传统音乐专业。

作为长子出生于民谣世家的他自幼受家庭熏陶，开始登台表演。

2000年获得东京民谣少男少女大赛第一名。2008年起师从善养寺惠介学习尺八。2018年成为演唱歌手藤AYA子的专属尺八演奏者。同年，担任了女子和乐器组合“SAKURA J SOUNDS”首张专辑《CHERRY BLOSSOM》的音效制作人。2020年作为和乐器演奏组合“櫻men”出道。作为音乐制作团队“ONE TONE”，参与了针对日本音乐的作曲、编曲和音乐提供活动。2023年，作为庆祝东盟与日本友好合作50周年活动，参与了MIKAGE PROJECT在泰国和马来西亚进行东盟巡演。

除此之外还在日本各地的学校进行表演，并担任了日本民谣协会青年部的助理导师。不拘泥于对尺八的成见或刻板印象，而是追求尺八的“个性”，并以民谣音乐锻炼出来的“歌魂”来进行演奏。

[Official Web site] ▶



〈尺八/篠笛〉三代目 佐藤 錦水 佐藤 公基

東京都下町根岸出身。

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒。民謡一家の長男として生まれ、幼少より家族に手ほどきを受け舞台活動を始める。2000年少年少女民謡東京大会において優勝。2008年より尺八を善養寺恵介師に師事。2018年演唱歌手“藤あや子”の専属尺八を務める。同年、女性和楽器ユニット「SAKURA J SOUNDS」のファーストアルバム「CHERRY BLOSSOM」のサウンドプロデューサーを務める。2020年和楽器パフォーマンス集団「櫻men」としてメジャーデビュー。音楽制作チーム「ONE TONE」として和に特化した作編曲・楽曲提供活動も数多く行っている。2023年には日本ASEAN友好協力50周年記念公演として、MIKAGE PROJECTでタイとマレーシアを巡るASEANツアーを実施。

また、全国各地で学校公演活動を行い、日本民謡協会青年部講師補佐も務めている。尺八に対する先入観、固定概念に縛られる事なく「らしさ」を追求しながら、また民謡で培ってきた「うた心」を大切に演奏している。



〈津轻三味线〉第二代 佐佐木 光仪 Mitsuyoshi Sasaki II

茨城县水戸市人。

受祖父母影响，5岁起拜入津轻三味线佐佐木光仪流门下。

16岁起师从福士丰秋大师和第二代成田云竹女大师学习津轻民谣、演唱伴奏。以前往东京攻读大学为契机，师从石川Kiyomi美大师学习歌唱。多次在日本津轻三味线全国大赛的最高峰部门摘得桂冠。

2023年，袭名津轻三味线佐佐木光仪流第二代宗家。目前在东京都和茨城县内开设了津轻三味线教室。

此外作为东京浅草民谣酒场“和之家 追分”的专职演奏者进行演出，同时在日本各地开展演奏活动。

[Official Web site] ▶



〈津轻三味线〉二代目 佐々木 光儀

茨城县水戸市出身。

祖父母の影響を受け5才より津軽三味線 佐々木光儀流に入門する。

16才より津軽民謡・唄付け伴奏を福士豊秋師、二代目成田雲竹女師に師事。大学進学で上京を機に唄を石川きよ美師に師事する。

津軽三味線全国大会の最高峰部門において数々の大会で優勝を果たす。2023年津軽三味線佐々木光儀流の二代目家元を襲名する。

現在は東京都と茨城県で津軽三味線教室を開講している。

また、東京 浅草の民謡酒場「和ノ家 追分」にて専属演奏者として出演しつつ全国各地で演奏活動中。



乐器介绍 — 楽器紹介 —

尺八 (尺八)

尺八是日本的代表性木管乐器之一，采用日本竹子中最为坚硬的桂竹制作。原本为5个按孔，但于近代开发了按孔更多的尺八，音域也因此得以扩展。此外，尺八还具有音阶因管身长度而异的特点，尺八越长，音色越低；尺八越短，则音色越高。在日本民谣界，尺八是一种伴奏乐器，但到了现代，除了古典乐曲以外，从西洋古典乐到爵士乃至流行乐等各种音乐领域都可以见到尺八的身影。观赏演奏时，留意按孔的数量、管身的长度以及音色的变化也不失为一种乐趣。

尺八は日本を代表する木管楽器のひとつで、日本で採れる竹の中でも最も硬い真竹で作られています。元来、指穴の数は5孔ですが、近代ではより多くの指穴のある尺八が開発され、より広い音域を可能にしています。また、尺八の長さによって音階も異なり、楽器が長いと音が低くなり、短くなると高くなるという特徴を持っています。日本の民謡の世界では尺八は伴奏楽器として使用されていますが、現代では古典曲だけでなく西洋クラシックからジャズ、ポップスなど様々な音楽シーンにおいて演奏されています。演奏を見る際は楽器の指穴の数、楽器の長さ、そしてその音の違いに注目してください。

篠笛 (篠笛)

篠笛是采用筱竹（矮竹）制作的日本横笛的统称。自古以来便运用于日本各地的祭祀庆典、神乐、狮子舞等民俗表演、民谣、长歌等各种传统音乐活动，可以说是日本人最为熟知的一种旋律乐器。直到今天，每逢祭祀庆典，仍然可以看到各种年龄层的筱笛吹奏者。

篠笛依照按孔数量、长度、大小和设计等分为不同种类，也像尺八一样会随着种类的不同而呈现不同的音程和音高，因此要根据所演奏的音乐而选择不同的篠笛。篠笛音色清冽，极具穿透力，欢迎欣赏。

篠笛とは、篠竹という竹で作られた日本の横笛の総称です。昔から日本各地のお祭りや神楽、獅子舞などの民俗芸能をはじめ、民謡、長唄など様々な伝統音楽に使われており、日本人にとって一番身近なメロディー楽器です。現在でも、お祭りの際には子供から大人まで多くの方々によって演奏されています。指穴の数、長さ、大きさ、デザインなどにより様々な種類があり、尺八同様、その種類によって音程や音の高さが異なるため、演奏する音楽によって適切な笛を使い分けれます。凛と響き渡る篠笛の音色をご堪能ください。

津轻三味线 (津軽三味線)

三味线是日本的弦乐器，共有三根琴弦，以琴拨拨弄琴弦进行演奏。据说三弦乐器起源于古波斯一带，后通过丝绸之路于16世纪左右传入日本。正如可以演奏西洋古典乐和爵士等多种音乐的钢琴一样，三味线也可以在歌舞伎表演、民谣等多种类别的演艺活动中演奏。其中，在日本青森县津轻地区为了演奏地方民谣而产生独特进化的就是津轻三味线。津轻三味线的特点在于它既是弦乐器，又具有打击乐器的演奏风格。演奏者既可以用琴拨敲打琴弦发出像打击乐器一样强劲的音色，也可以演奏出细腻的音色。演奏者能在两者间自由切换，这是津轻三味线的魅力所在。

三味線は日本の絃楽器で、3本の絃を持ち、撥を使って演奏します。三絃楽器の起源はペルシャ周辺といわれていますが、長年シルクロードを旅して16世紀ごろ日本に伝わってきました。ピアノが西洋クラシックやジャズなど様々なジャンルの音楽で演奏されるように、三味線も歌舞伎や民謡など多くのジャンルの芸能において演奏されます。中でも日本の青森県津軽地方の民謡を演奏するために進化したのが津軽三味線です。津軽三味線は弦楽器でありながら打楽器的な要素も含む奏法が特徴です。打楽器のように撥で弦を打つ力強い音色と、繊細な音色の両方を奏者が自由に奏することができるのが津軽三味線の魅力だといえます。